

目指す児童生徒像「明日をひらき のびゆく 輝多っ子」



学校教育目標 「自立・創造・貢献」

高萩北中だより

令和5年10月2日 第7号



考えよう
家族みんなで
スマホのルール

私からは子どもたちの健康をより徹底に取り組みます

高萩北中プロジェクト



全力で取り組む姿が美しい！！

校長 島津 芳久
曼殊沙華の季節を迎え、日差しは強いもののさわやかなスポーツの秋となってきました。

さて、9月21日、22日の2日間にわたって、入間西部ブロックの新人体育大会が行われ、女子バレーボール部の優勝を始めとして、たくさんの生徒が活躍してくれました。県大会に出

場する生徒の皆さんの健闘を祈ります。

さて、2018年の平昌オリンピック、スピードスケート女子500mに出場した小平奈緒さんは、1歩を約6m（教室の窓ガラス約7枚分）、平均時速50kmで500mを滑り、見事金メダルに輝きました。この結果の裏には「スポーツを隅の隅まで楽しみきりたい」という思いがありました。2010年バンクーバーオリンピックのチームパシュートで銀メダルを取り、年齢的にもピークを迎える2014年のソチオリンピックにむけて、男子並みのハードな練習に取り組み、肉体改造を行い、まさにかむしゃらに取り組んだそうです。そうして迎えたソチオリンピックですが、5位入賞、全力を出し切ってもメダルに届かなかったという現実を思い知らされた大会となりました。小平さんはインタビューに「後悔のない屈辱でした」と答えています。その後、スケート王国オランダに留学するものの、結果は振るいませんでした。しかし、帰国後コーチとオランダでの練習を振り返り、体格の違うオランダ人がそのメリットを極めようとしていることを求めても日本人には合わない。日本人のメリットを最大限生かしながら、オランダの選手がやっていることをアレンジして取り入れることが「正解」なんだと気づいたそうです。「自己流」を選んだのは自己責任。風邪をひくのも自己責任。自分の責任だと思えば、逆にいろんなことに挑戦できる。そして、責任を持って生活できたことが、自信につながっていったそうです。冒頭の平昌オリンピックでは、スケートが身体の真ん中に入ってくる感覚。氷から力をもらって足が動かされる。滑ることが楽しく、おのずとタイムも良くなったそうです。

小平さんは、2019年の台風19号で被災した長野市で災害ボランティアとしても活動されており、「長野で生まれ育ち、地域に支えてもらった。応援されるばかりでなく、応援できる人でありたいと思った」と語っています。

秋はスポーツだけではなくありません。芸術、文化など自分の極めたいものに全力で取り組む絶好の季節です。すぐに結果には表れないかもしれませんが、自分の信じる道を見つけるきっかけになるのではないのでしょうか。

○新人体育大会より



- サッカー部 3位
- 女子ソフトテニス部
 - ・団体戦 3位
 - ・個人戦 (県大会出場) 奥田・若林組 4位
- 女子バスケ部 3位
- 卓球部
 - ・団体戦 5位
 - ・個人戦 (県大会出場) 甲斐・寺島組 2位
- 男子ソフトテニス部
 - ・団体戦 2回戦惜敗
- 男子バスケ部
 - ・1回戦惜敗
- 陸上部
 - ・女子総合 1位
 - ・男子総合 2位 (県大会出場)
 - 女子4×100mR 1位
 - 100m 池上 1位
 - 〃 鈴木 2位
 - 200m 篠原 3位
 - 800m 野村 2位
 - 1500m 萩原 2位
 - 男子4×100mR 2位
 - 200m 鈴木 4位
 - 400m 齊藤 2位
 - 3000m 室越 1位
 - 110mH 河野 1位
 - 走高跳 保坂 1位

◎PTA資源回収

保護者、生徒、教職員で作業を行いました。
資源のご提供ありがとうございました。



- ◎入間西部予選個人参加 (県大会出場)
- 剣道女子 阿辺川 1位
- 山下 3位
- 男子 齋藤 1位

○10月の主な行事予定

5日 (木) 体育祭予行	11日 (水) 3年生4市テスト
7日 (土) 第40回体育祭	中間テスト前諸活動停止
予備日 10日、以下順延	15日 (日) BJの日
9日 (月) スポーツの日	16日 (月)、17日 (火) 中間テスト
10日 (火) 教育実習開始 (~27日)	18日 (水) 入間西部駅伝大会
	26日 (水) 弁当の日

